

## 7分野14課題23項目にわたる「政策・制度要求」を大澤知事に提出



連合群馬は、8月21日群馬県庁において、平成30年度の行政運営に対する「政策・制度要求と提言」を大澤知事に提出しました。

この政策要求は、本年1月から4月にかけて展開した「県民意識調査」に回答いただいた10,401名分を集約し、7分野14課題23項目に取りまとめたものです。

富澤会長は、知事に対し「10,401の県民意識調査の回答を基に取りまとめたものであり、連合群馬組織内の意見にとどまらず、県民の意見として受け止めていただき、行政運営に活かしていただきたい。」と提言書提出とともに要請を行いました。

大澤知事は要請に対し「連合群馬の皆さんからは、毎年貴重なご意見をいただき大変ありがたい。今回の要望は、県が進める基本方針と合わせしっかり取り組みたい。1万人を超える県民の思いが貴重な資料となり、今後の行政運営に活かしていきたい」とのコメントがありました。

その後の意見交換では、県外への若者の流出を最小限にとどめるために、「**県の魅力度アップや公共交通を含めたユニバーサルデザインを進展させ、誰もが楽しく住めるまちづくり**」や政策委員から現場の実態を踏まえ、「**交通弱者対策の強化」「教職員の勤務時間管理、過重労働の軽減**」など認識を共有するとともに、具体的な対策に向け意見を交わしました。

### I. 雇用労働

1. 良質な雇用・就業機会の実現に向けた対応
2. ワークルール遵守に向けた環境整備

### II. 中小企業

1. 中小企業の魅力発信と人材確保対策の強化・推進
2. 地域におけるものづくり産業の強化・推進

### III. 福祉・社会保障

1. 社会保障制度の基盤と人材確保策の拡充
2. 高齢者の活躍の場の創出促進
3. 平均寿命と健康寿命の差異圧縮の推進

### IV. 教育

1. 働き方改革における教職員の実態把握と適正化の推進
2. 教育の機会均等の保障と労働教育のカリキュラム化の推進

### V. 交通

1. 交通弱者対策への支援強化
2. 高齢者に対する安全運転サポート車の普及促進

### VI. 男女平等

1. 男女平等の視点に立った社会制度・慣行の見直し
2. 男女平等と女性活躍の推進

### VII. 防災・減災

1. 災害時における減災対策の強化

今回の要請に対する回答を10月中旬に文書をいただくこととなっており、連合群馬の要望と県の認識をさらに深め要求実現に向け引き続き取り組みを行っていきます。

また、各地域協議会では、県内35の市町村に対し「政策・制度要求と提言」を提出し、県と市町村の連携を強化し、連合群馬がめざす「すべての県民が安心して暮らせる地域社会」の実現に向け、取り組みます。



政策委員からの積極的な意見



事務局から県民意識調査結果を説明



大澤県知事「行政運営に活かしていきたい」



## 意見交換会 群馬中小企業家同友会

### 労使関係の重要性と 雇用人材確保の現状について共有

○人手不足や仕事内容のアンマッチが顕在化するなか、海外からの労働者はありがたく、会社を運営するうえでは必要不可欠な存在となっている。一方で研修制度を利用して働いている場合、法律上3年での帰国が義務となっているため人材が定着しないといった問題が発生している。

#### 【労使関係について】

○同友会としても労使関係は大切だと考えている。とくに社員数の少ない中小企業にとって社員は家族の一員であるという認識も持っている。コミュニケーションをしっかりと取りながら社員と共に会社の発展を目指している。

#### 【連合や労働組合の印象について】

○連合に対しては、本部レベルでの意見交換も実施していることから敵対するような認識はない。労使協調という点では同じ立ち位置だと考えている。

○一方で労働組合は会社に対し威圧的な行動をする組織といった印象は持っている。

#### 【今後に向けて】

今回の意見交換会を通して、お互いを知るきっかけを作ることが出来ました。引き続き同友会に対しては、継続的な意見交換による交流と将来の連携構築に向けた取り組みを進めていきたいと考えます。

8月1日、連合群馬は群馬県中小企業家同友会（以下同友会）との意見交換会を初めて開催しました。連合群馬からは小島会長代行をはじめ、組織アドバイザーなど4名、同友会からは、代表理事および副代表理事など5名が参加しました。冒頭それぞれの組織から活動の紹介をし、連合からは労使関係の重要性について説明しました。また意見交換では、労働人口減少に伴う人手不足が深刻化するなか、県内の雇用環境や中小企業を取り巻く環境、とりわけ人材確保の現状について伺うとともに同友会から見る連合、労働組合の印象について伺いました。

#### 【人材確保の現状について】

○新卒の採用が非常に厳しい。やっとの思いで確保出来たとしても、大手の採用が内定すると辞退されてしまい、また1からやり直しになってしまう。本当に人集めには苦労している。

○大学卒が増えてきたため、現場作業をやる人材が少なくなっている。技術開発者と現場作業者のバランスが不安定。

## 意見交換会 県内7署 労働基準監督署

### 労働相談が絶たない状況で 地域での情報交換を密に

7月28日から約1カ月間、群馬県内7箇所の労働基準監督署（以下労基署）と連合群馬、各地協役員と組織アドバイザーで意見交換会を実施しました。意見交換会の目的は、労基署に寄せられる労働相談、および連合群馬「なんでも労働相談」に寄せられる内容について共有し、安心して働くことのできる環境整備に向け地域で働く仲間たちのサポート体制の強化です。なんでも労働相談では嫌がらせやパワハラなどの差別等に関するものが最も多い傾向でしたが、労基署では、労働時間、賃金・退職金、年次有給休暇などの労働条件に関する相談が多い傾向であり、いじめ・嫌がらせも増加傾向であるとの事でした。相談者の職種では、製造業の多い地域、接客業の多い地域など地域地場産業による傾向がありましたが、各地域とも保健衛生業（介護職等）からの相談が増加傾向であるとのことでした。

また、労基署ではチラシの配布やセミナー等を開催し、労働災害防止、最低賃金や労働基準法遵守に向けた活動を随時行っているが、限られた人員での対応では地



域全体へ波及させることが難しい状況であり、労働相談が後を絶たない現状がわかりました。

連合群馬に寄せられる相談に対しては、その内容に応じたアドバイスや、組合づくりに対するサポート、弁護士の紹介などを行いますが、会社等に対する行政指導に関しては労基署への相談を勧め対応していただき、また、反対に労基署から連合群馬への相談を勧められていることもあるそうです。今回の意見交換会を通じ地域での連携、またお互いに情報交換を密にして、労働者が安心して働くことのできる社会づくりに向け取り組むことを確認いたしました。



## 意見交換会 民進党群馬総支部

連合政策実現に向け  
定期的な開催でさらなる連携

連合の政策を実現させるためには、我々の声を国会の場に反映させ、連携できる国会議員を誕生させる必要があります。連合の政治方針は「与野党が互いに政策で切磋琢磨する政治体制の確立が重要であり、政権交代可能な二大政党体制をめざす。連合は左右の全体主義を排し、民意が適正に反映されて、健全な議会制民主主義が機能する政党政治の確立を求める」としています。そのため、連合の求める政策と政党理念が重なる民進党を基軸に、政策実現に向けた連携や選挙における支援を行ってきています。

昨年7月の参議院議員選挙における連合群馬と民進党群馬総支部（以下総支部）の総括では、「お互いの連携強化の必要性や定期的な意見交換の実施が必要である」との確認がされ、2017年度は意見交換として、6回開催しました。

各種選挙における候補者の擁立や選挙体制の確立などを共有する中で「第48回衆議院選挙」の対応について、各選挙区単位での取り組みに任せていた部分を総支部と連合群馬において全県を網羅する「選挙対策会議」を設置することを確認しました。



日ごろから連携を強め、連合ならびに連合群馬の政策実現に向け、総支部との連携をはかりながら取り組むことの確認を行っています。

## 民進党要領

我が党は、「自由」「共生」「未来への責任」を結党の理念とする。私たちは「公正・公平・透明なルールのもと、多様な価値観や生き方、人権が尊重される自由な社会」「誰もが排除されることなく共に支え、支えられる共生社会」「未来を生きる次世代への責任を果たす社会」を実現する。

## (私たちの立場)

我が党は、「生活者」「納税者」「消費者」「働く者」の立場に立つ。

未来・次世代への責任を果たし、既得権や癒着の構造と闘う、国民とともに進む改革政党である。

## 日本の子どもは6人に1人は貧困

## 群馬県における取り組み強化を求めて！議員と連携

最近、子どもの貧困や貧困の連鎖が社会問題化されていますが、本当にそんなに“貧困”に陥っているの？と思っている方も少なくないと思います。

貧困には「絶対的貧困」と「相対的貧困」があります。「絶対的貧困」とはいわゆる人間として必要最低限の生存を維持することが困難な状態に陥っており、主に発展途上国などに見られます。

一方、先進国での貧困問題は“相対的貧困”で、その国の水準を保つために欠乏が生じていること、日本では『給食費が払えない』『修学旅行に行けない』『夢や希望を叶えるため学びたいけど学費が払えない』など、自己実現を断念せざるを得ないといった表面化しにくい特性があります。

相対的貧困率は国民一人ひとりの等価可処分所得で算出しますが、経済協力開発機構（OECD）加盟国で日本はワースト4位で高い水準となっています。

日本の子どもの貧困率は1990年代半ばから概ね上昇傾向にあり、国民生活基礎調査では、子どもがいる現役世帯の相対的貧困率は15.6%。ひとり親世帯では50.8%となっており、子どもの貧困にあるのは親の貧困でもあることがうかがえ、収入の少ない親が増えてきたことが要因です。

連合・神津会長は「非正規雇用をひと括りにはできないが、『不安定雇用』であること。長期安定雇用のもとでスキルアップをはかり、それにもなつて賃金も上がっていくという仕組みから外れていたところに置かれている。貧困問題は労働問題を置き去りにしたまま解決できない。」とし、連合クラシノソコアゲ応援団の充実や貧困対策として「就学金の充実・授業料引き下げ」

## 相対的貧困率とは？

「就学前教育の無償化」など政策を求めています。

少子超高齢化を迎える日本にとって、可能性を秘め次代を担う子どもたちから選択の余地を奪うことや活躍の場を奪うことは日本にとって大きな損出といっても過言ではないと思います。

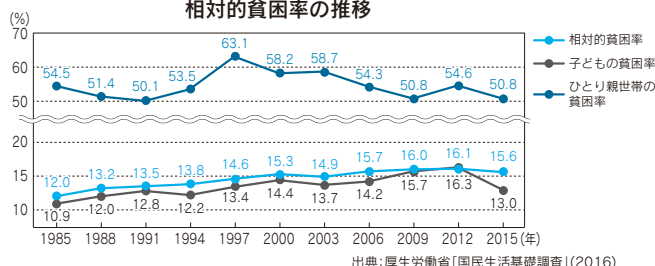
連合群馬議員懇は各級議会において子どもの貧困対策を中心に行政における対策や取り組みの強化を求めているところです。

議員懇メンバーの会派「リベラル群馬」が群馬県議会においても、子どもの貧困対策の推進について「子どもの生活実態調査」「親の所得等と子どもの学力との相関」「子どもの生活・学習支援」など取り上げ、委員会での審議や本会議での一般質問を行い、群馬県における取り組みの強化を求めています。



自治研シンポジウム「脱貧困のための打開策を地域から問う」をテーマに女性委員会・新後援委員長が発言

相対的貧困率の推移



## メンタルヘルスセミナーを開催

# アサーションを心がけ、健康でいきいきとした職場を!

8月26日、勤労福祉センターにて56名が参加し、『健康な職場づくり』若手社員の“メンタル離職”を未然に防ぐ」をテーマにメンタルヘルスセミナーを開催しました。



メンタルヘルス・マネジメントⅡ種（ラインケアコース）の資格を持つ南雲正和講師（みやま文庫・事務局長）より、「アサーション」（自分と相手を大切に表現する方法）を中心に、性格診断（エゴグラム）などについて講義を受けました。

「職場のストレスが原因で離職してしまったり体調を崩されたりする方が多くいる。新入社員にもすでに辞められた方がいるのではないかな。後輩と話したり指示を出したりする場面があると思うが、中には打たれ弱い人も。いろいろな人がいる中で共に働くという意識やお互いを認め合うなど職場の人間関係は重要。その人間関係を築くには、お互いに信頼関係を築かなければならない。」といった講話の後、事例をもとに、アサーション



での答え方を学びました。相手に配慮する答え方は様々で、参加者の回答や講師の回答例を聞き、うなずきながら賛同する方、違

う言い回しにハツとして気づかされた方など反応も様々でした。最後に、人間関係を築く上で自分自身を知ること必要であり役に立つということで、「エゴグラム」（心の要素を5つに厳しさ、やさしさ、冷静さ、自由さ、従順さ）に分けて行う性格診断）で自己診断を行いました。

連合群馬が県内の高校へ出前授業等を実施した際のアンケートでも、社会に出たとき、会社の上司や先輩との人間関係が不安と答えた生徒は少なくありません。皆さんも社会に出る時不安を抱えていませんか。職場全体でアサーションを心がけ、新入社員の皆さんがいきいきと安心して働ける職場になるように努めていきましょう。



**事例** 退社間際、あなたは上司から残業を頼まれました。ですが、今日は他に約束があります。

I はっきりと断る。 自分○ 相手×  
II 嫌々引き受ける、約束は諦める 自分× 相手○  
III 上司の気分を害さない話し方で納得してもらい、自分の約束を優先する。 自分も相手も○

アサーションで考えてみよう！  
皆さんはどのように答えますか？

※当日の南雲氏提供資料から引用

## 群馬県の最低賃金

平成29年10月7日から  
時間額783円に改定

群馬県内の事業所で働く、常時、臨時、パートタイマー、アルバイトなど雇用形態を問わず、すべての労働者とその使用者に適用されます。



求人  
アルバイト募集  
高校生  
時給780円

## 連合群馬第22回定期大会

- 日時：2017年10月28日（土）  
13:30～17:00
- 場所：昌賢学園まえばしホール（前橋市民文化会館）
- 付議事項：（予定）
  - (1)第1号議案 第16期（2018～19年度）活動方針（案）
  - (2)第2号議案 第16期（2018年度）予算（案）
  - (3)第3号議案 公認会計士の委嘱
  - (4)第4号議案 役員選出
  - (5)第5号議案 役員功労表彰

ゆるキャラグランプリ  
2017

応援してユニ!



連合公式キャラクター

ユニオニオン  
初立候補!

スマホ・携帯・パソコンから  
毎日投票  
お願いします!



初回のみID登録が必要です

投票  
期間

8/1火 10:00 → 11/10金 18:00

ゆるキャラグランプリ ユニオニオン 検索

▶投票はこちらから